

第3章 4つの推進方策に基づく各施策（平成26年3月現在）

【学習機会の提供と充実】

推進方策1：『社会の進展に応じた一人一人の学びを応援します』

情報化や科学技術が急速に進展し、その状況が複雑に変化している現代において、社会が生み出す様々な課題にしっかりと向き合いながら、生きがいに満ちた豊かな学びができるよう学習機会の提供と充実に努めます。

また、乳幼児から高齢者に至るまで、それぞれのライフステージやニーズに応じた多様な学習メニューを提供することにより、市民一人一人の学びを支援します。

施策1-1 ライフステージに応じた学習機会の提供

人はそれぞれのライフステージにおいて、抱える課題や学ぼうとする内容が異なります。

そこで、市民の皆さんの課題やニーズに幅広く対応できるように、それぞれのライフステージに応じた学習の機会の充実に努めます。

	事業等（担当課）	事業の概要	評価
1	ニューライフカレッジ霧島 （生涯学習課）	志学館大学・鹿児島工業高等専門学校と連携し実施。南九州地域を中心とした自然・社会・産業などの地域遺産を掘り起し、未来に繋いでいこうとする、市民の学びを推進する。 【5月～2月の10回シリーズ】	未記入
2	高齢者大学 （生涯学習課・各教育振興課）	高齢者が教養を高めるとともに、相互の親睦を深め、生きがいのある生涯を送るための学習を推進する。 市内6地区で、年間6～10回程度の講座を開設する。 【国分地区：舞鶴大学・大学院，隼人地区：シニア大学，溝辺地区：みそめ講座，牧園地区：ふれあい講座，福山地区：高齢者大学まきば・たぎり，横川地区：高齢者学級】	
3	成人式 （生涯学習課・各教育振興課）	市を挙げて新成人の前途を祝し激励する式典として、霧島市内7地区でそれぞれ実行委員会を組織し、地域において特	

		色ある式を開催する。新成人が一堂に集い、社会の形成者としてたくましく生きることを誓う機会とする。	
--	--	--	--

施策1-2 自然を守り、自然との共生を目指した学習機会の提供

ものの豊かさを求める時代から、精神的な豊かさを求める時代となり、現在では、自然を守り、自然と共生する生き方が求められています。そこで、人生の各ライフステージにおいて、ふるさとの山、川や海をはじめ、そこに生きる多くの動植物にふれあうなど、野外体験や自然体験を通して、自然と共生しようとする「豊かな心のものさし」づくりを推進します。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	いざ行け！きりしま探検隊 (生涯学習課)	霧島市内にある山、川、海などの豊かな自然の中で、異年齢集団による生活や自然体験等を通して、生命や自然を大切にする心や思いやり、社会性、規範意識、郷土愛等を養い、心身ともにバランスのとれた、感受性豊かな「きりしまっ子」を育成する。	未記入
2	きりしまチャレンジャー (生涯学習課)	ふるさとの豊かな自然の中で、霧島山の成り立ちなどについて学ぶとともに、四季折々の動植物等にふれあう活動を通して、感性豊かな子どもたちを育成する。 【ミヤマキリシマを見に行こう、まきぞの自然体験】	
3	公民館定期講座 (生涯学習課・各教育振興課)	市内の史跡や名所などへ出かけ、様々な場所を散策しながら四季折々の霧島の自然にふれあう。 【横川探究塾、山野草、楽しい霧島登山、霧島自然探勝、霧島ふるさとめぐり、霧島よかとこどり】	
4	史跡めぐり：天然記念物編 (文化振興課)	本市には、「霧島ジオパーク」に認定されている火山噴火による地形や河川の成り立ちや形成が学べる場所が数多くある。 そこで、この環境を生かし、自然散策などを通して、環境を守るとともに継承する心を育んでいく。	

わんぱく！きりしまっ子自然体験事業

～いざ行け！きりしま探検隊より～

生涯学習課

いざ行け！きりしま探検隊は、心身ともにバランスのとれた感受性豊かな「きりしまっ子」を育成する目的で、平成22年度からスタートしました。

市内にある山、川、海等の豊かな大自然の中で、小学5年生から中学3年生の40人を対象に、6泊7日の自然体験や宿泊体験を夏休みに実施しています。

子どもたちは、きりしまの雄大な自然の中で生命や自然を大切にする心を養ったり、ふるさとの歴史や産業について学習したりして、郷土のすばらしさを学びます。

また、異年齢での宿泊体験を通して、他人を思いやる優しさ、社会性、規範意識などを養います。

平成25年度の主な活動

- 【 山 】 ・韓国岳山頂での朝日遥拝
- 【 川 】 ・上～下流域での水生生物観察 ・天降川水系での鮎漁体験
- 【 海 】 ・錦江湾でのイカダ釣り体験
- 【歴史・産業】 ・山ヶ野金山探検 ・モノづくり維新館での体験
・黒酢工場での学習 ・麴についての学習



韓国岳山頂にて朝日遥拝



天降川水系での水生生物観察



錦江湾での釣り体験

施策1-3 人材育成と絆づくりを目指す学習機会の充実

本市では、市民の皆さんが気軽に楽しく取組める内容を準備し、学びの機会のきっかけづくりを図ります。また、それらの活動を通して、受講生や講師の先生方の交流を図るとともに、ふれあいのあるまちづくりを推進していきます。

さらに、学習の成果を生かしながら、地域活動やボランティア活動、学校応援団活動などに積極的に参加する市民の育成を目指します。

この学びの輪をさらに発展させ、「(仮称) きりしま総合大学」構想にもつなげていきます。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	公民館講座 (生涯学習課)	7 地区の拠点公民館を中心に、身近な内容から専門的なジャンルまで、市民に学びのきっかけとなる機会を提供する。 【定期講座 140 講座, 短期講座 10 講座】	未記入
2	まなびフェスタ (生涯学習課)	公民館講座で学びを深めた受講生が一堂に集い、相互の交流を深めながら、講座で学んだ成果や作り上げた作品を展示・発表する機会を提供する。	
3	きりしま女性講座 (生涯学習課)	女性として、健康で楽しい生活を送るとともに、自らを磨きながら地域や社会の一員として積極的に社会参画しようとする学びの機会を提供する。	
4	人権教育啓発推進者養成講座 (生涯学習課)	同和問題をはじめとする様々な人権問題をテーマに、それぞれの問題に対する正しい理解を図るとともに、地域において幅広く人権教育を推進していただく啓発者の育成を図る。 【8月～11月にかけて8回シリーズで実施】	

まなびフェスタ

～制作した作品や学んだことの発表の機会～

生涯学習課

定期講座で学んだことを発表する機会として、まなびフェスタを開催しています。講座を通して学んだ内容を舞台上で発表したり、制作した作品を展示したりし、相互の成果発表の場となっています。

本市におきましては、一年間で約4,000人の方々が各地区の特色を生かしたそれぞれの講座で学習しています。



施策1-4 国際感覚を育むための学習機会の提供

私たちの生活は、様々な形で外国とつながっています。また、いろいろな形で海外との交流も増し、外国を身近に感じる時代になりました。このようにグローバル化がますます進展する中においては、外国について学び、世界とつながっていこうとする国際感覚を養うことが大切です。

そこで、本市においては、国際社会の中で活躍できる人材の育成を図るとともに、世界に目を向け、異なる文化や外国の国々と共存しようとする市民の育成に努めます。

	事業等(担当課)	事業の概要	評価
1	きりしまっ子立志塾 (生涯学習課)	生徒がALT等と共に生活することや海外経験者の体験談から、英語や異文化に対する興味・関心を高めるとともに、将来の生き方を見つめる体験を行う。 【2泊3日：霧島ふれあいセンター】	未記入
2	日韓親善子供大使友好の翼事業(生涯学習課)	実行委員会を組織し、児童を対象にした訪問事業と受入事業を通して、日韓相互の文化交流を行うとともに、友好親善と国際交流を図る。 【8月…訪問事業、1月…受入事業】	
3	青少年海外派遣事業 (生涯学習課)	霧島市国際交流協会が実施する霧島市青少年海外派遣事業に参加する派遣生の渡航費用の補助を行う。 派遣期間はアメリカが7月下旬から8月の約1か月間、ベトナムが7月下旬の約1週間である。	
4	公民館定期講座 (生涯学習課)	外国についての理解を深めるきっかけづくりとして、外国語の基礎的内容を学ぶ機会の提供を行う。 【韓国語、中国語、英語】	

施策1-5 様々な世代間における交流の推進

少子化や核家族化の進展により、家族がふれあう時間や地域における行事など、各世代間の交流の機会が少しずつ減少しています。また、時代の潮流や都市化、個人の多様な考え方などにより、地域のつながりも薄れつつあります。

このような中、本市においては、生涯学習を通して地域の絆づくりに努めるとともに、様々な場面を通して世代間交流の充実を推進します。

	事業等(担当課)	事業の概要	評価
1	公民館主事の配置 (生涯学習課)	地域活動や公民館における各種講座等の推進と充実を図るために、地区公民館への公民館主事の配置を行う。	未記入

2	地区自治公民館講座等開設 支援事業 (生涯学習課)	地区自治公民館で行う自主的な講座の開設などの学習活動を奨励するために、講座開設に要する講師謝金の一部補助を行う。	
3	子ども会育成支援事業 (生涯学習課)	各地域の単位子ども会や市子ども会育成連絡協議会との連携を図るとともに、地域における青少年の健全育成について指導や助言、運営に要する経費の援助を行う。 【役員を対象とした各種研修会の開催、市子連主催「おすすめ事業」の実施など】	
4	あいさつ運動推進事業 (学校教育課)	子どもを中心に置いた地域における「あいさつ運動」の実施を通して、礼儀の大切さを学ぶことはもとより、地域の連携、地域の絆づくりを図る。	

施策1-6 情報化社会へ対応していくための学習機会の提供

インターネットへ接続できる機器の進化によって、情報化社会は日々進化しています。

ありとあらゆる機器がインターネットで結ばれ、世界中から情報を検索だけでなく、個人が自由に情報を発信できるようになり、生活の利便性はますます高まるばかりです。

しかし、その一方で、個人情報への流出や不正アクセス、ネット詐欺等の新たな危険が、世代を超えて発生しています。

そのため、ライフステージに応じた情報活用能力を高めるための学習機会の提供に努めます。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	パソコン基礎講座 入門コース 再チャレンジコース (メディアセンター)	初心者を対象としたパソコン講座、電源の入切、マウスの操作、文字入力、インターネット活用などについて学ぶ機会を提供する。	未記入
2	キッズPC講座 (メディアセンター)	パソコンの基礎的な操作、インターネット体験、情報モラル指導、写真・映像の撮影加工・編集等を行い、情報社会で生きる力を育てる。	
3	仕事に役立つワード・エクセル基礎講座 (メディアセンター)	パソコンを習いたいけど、仕事で時間が作れない方を対象に、文書作成や関数の基礎について夜間に講座を行う。	

4	誰でもできるパソコン講座：高齢者対象 (メディアセンター)	60歳以上の高齢者を対象に、パソコンの基本的な操作、インターネット体験、情報モラル指導を行い、パソコンを活用する力を育てる。	
---	----------------------------------	--	--

パソコン基礎講座

～パソコン基礎講座入門コース～

メディアセンター

パソコン基礎講座入門コースは、パソコンの種類、各部分の名称、電源の入切、マウスの操作、日本語入力の方法など、基礎から学んでいただくために、平成18年度にこれまでのパソコン入門講座から名称を改めスタートしました。

霧島市メディアセンターのメディア研修室にあるパソコンを使い、暑中見舞いや年賀状の作成を通して、パソコンの基本的な操作を体験することができます。

インターネット検索も体験し、情報化社会におけるルールやマナーについても学習します。



パソコン基礎講座



『暑中見舞い』作成

施策1-7 健康・体力づくりを推進するための学習機会の提供

市民の健康維持・体力増進を目的としたスポーツ活動を推進するためには、それぞれのライフステージにおいて、体力・関心に合ったスポーツ教室が準備されていることが必要です。市民一人一人のライフステージや興味・関心に対応した学習機会を支援するため、体験・学習機会、健康・スポーツプログラムの提供によりスポーツ活動の参加を促進します。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	健やかふれあいニュースポーツのつどい (保健体育課)	中・高齢者の「健康づくり・仲間づくり・生きがいづくり」のために、手軽に誰でも簡単にできる楽しいニュースポーツを紹介し、体験をする。	未記入

2	障がい者のための水中ウォーキング教室 (保健体育課)	日本障がい者スポーツ協会公認指導者を配置し、水中ウォーキングの基礎基本を指導する。正しい水中ウォーキングのやり方を障がい者が取り組むことにより、障がい回復の手助けを行うとともに障がい者のスポーツ活動への支援を行う。	
---	-------------------------------	---	--

施策1-8 スポーツに親しむ機会の充実（地域スポーツの振興）

スポーツ基本法では、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、すべての人々の権利であるという「スポーツ権」が明記されました。「する」、「観る」、「支える」スポーツが、「霧島市スポーツ振興計画」の中核であり、この計画に則って、生涯スポーツ社会を実現できる環境づくりを進めます。

また、こうした環境づくりには、施設だけでなく、スポーツ団体や指導者、総合型地域スポーツクラブなど、スポーツを支える様々な市民相互の連携も含まれます。

	事業等（担当課）	事業の概要	評価
1	上野原縄文の森駅伝大会 (保健体育課)	平成4年にハイテク展望台の完成を記念し開催され、9,500年前の縄文文化を肌で感じながら参加者の親睦と連帯を深め、元気のある「まちづくり」に資するとともに、上野原縄文の森ならびに、霧島市を広く市内外にPRする。	未記入
2	各地区スポーツ祭開催支援事業 (保健体育課)	市内の地区ごとに体育祭や駅伝大会、バレーボール、ゲートボール等の大会を開催することで、日頃スポーツに取り組んでいない方の参加を促進し、スポーツを楽しんでもらうとともに、住民相互の親睦や地域の結束と融和を深める。	
3	チャレンジデーの開催 (保健体育課)	毎年5月の最終水曜日に人口規模がほぼ同等の自治体と、運動やスポーツなどの活動を行った住民の「参加率 (%)」を競うスポーツイベントである。 敗れた場合は、対戦相手の自治体の旗を庁舎のメインホールに一週間掲揚するというユニークなルールによって行う住民総参加型スポーツイベントである。	

霧島市・上野原縄文の森駅伝大会

～タスキでつなぐ心と絆～

保健体育課

この大会は、平成4年の国分ハイテク展望台の完成記念と生涯スポーツの振興を図ることを目的に「国分テクノマラソン大会」としてスタートしました。

その後、平成10年に「上野原テクノマラソン大会」、平成14年に上野原縄文の森がオープンしたことにより、駅伝大会へ変更し、「国分縄文の森駅伝大会」、「霧島市・上野原縄文の森駅伝大会」と改称し、現在に至っています。

<内 容>

【ジョギングの部】	小・中学生	2.4km	
	一 般	4.8km	
【駅 伝 の 部】	小 学 生	8区間	9.6km
	中学生以上	7区間	9.6km



施策1-9 芸術文化活動の推進

市民の自発的な文化活動を支援し、多様化する市民ニーズに対応した文化活動を推進するとともに、平成27年度に開催される第30回国民文化祭・かごしま2015を契機として、芸術・文化に対する関心をさらに高め、日常生活にゆとりと潤いを感じることでできる文化の薫り高いまちづくりを目指し推進します。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評 価
1	文化芸術支援事業 (文化振興課)	市内で活動している各種団体への活動を支援することで、芸術文化活動の活性化に努める。	未記入
2	児童生徒芸術鑑賞会事業 (文化振興課)	優れた芸術作品等に触れる機会を提供することにより、児童生徒の芸術文化に対する関心と、豊かな心の醸成を図る。	

3	霧島市芸術祭開催事業 (文化振興課)	市内で活動している文化協会構成団体が一堂に会し、霧島市芸術祭を開催することにより、芸術文化活動の活性化や住民の文化に対する意識向上を図る。	
---	-----------------------	---	--

施策1-10 人権感覚を育むための学習機会の充実

人権が尊重される社会を創造するためには、市民一人一人が人権に対する関心や意識を高めるとともに、お互いの違いや多様性を尊重しようとする社会づくりに取り組むことが大切です。

そこで、地域や職場・学校などにおいては、様々な学習機会の場を設け、同和問題をはじめとする様々な人権問題についての正しい理解と認識を図りながら、市民一人一人の豊かな人権感覚の醸成に努めます。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	人権教育啓発推進者養成講座 (生涯学習課)	同和問題をはじめとする様々な人権問題に対して、正しい理解を図っていくとともに、地域において幅広く人権問題を啓発していただく市民の育成を図る。 【8月～11月にかけて8回シリーズで実施】 (再掲)	未記入
2	人権セミナー in 中学校・高校 (生涯学習課)	中学校を対象にし、3年間で市内すべての学校で実施する。 講演内容は、子どもたちにとって身近な課題である「いじめ問題 (中学校)」「デートDV (高校)」とする。	
3	公民館人権学習会 (生涯学習課)	地域の方々が、人権問題に対して理解を深めるとともに、地域における人権教育の推進を図るため、身近な学習の場である公民館を活用し学習会を行う。 【平成26年度～28年度テーマ：北朝鮮当局による拉致問題について】	
4	人権出前講座 (生涯学習課)	様々な人権問題についての正しい理解を図るために、学校や公民館などで行われる研修会に対して、謝金の補助と講師の紹介を行う。	
5	人権教育情報紙「人権教育推進の取組」の発行 (生涯学習課)	本市における一年間の人権教育の推進内容をまとめ、人権教育についての情報提供と人権啓発を行う。	

人権教育総合推進事業

～人権教育啓発推進者養成講座～

生涯学習課

人権教育・啓発の効果的な推進に当たっては、様々な人権に関する課題について正しい理解と認識を深めるため、市民の身近なところで人権教育・啓発を推進していく指導者が大きな役割を果たします。

8回の講座を通して人権感覚を磨き、様々な人権問題について豊かな出会いを育んでいただく中で、私たちの生活の拠点（家庭・地域・職場）で人権教育の啓発・推進に活躍していただく市民の方々を養成します。

平成25年度講座テーマ（8回講座）

- 【 人権尊重のまちづくり 】
- 【 性同一性障害 】
- 【 女性と人権 】
- 【 障がい者と人権 】
- 【 ハンセン病と人権 】
- 【 ホームレス生活者と人権 】
- 【 同和問題 】【 人権教育 】



【参加型学習：女性と人権】



【講演：ホームレス生活者と人権】



【講演：同和問題】

【学校と家庭・地域の連携による支援】

推進方策2：『地域全体で子どもたちの成長を応援します』

子どもたちを取り巻く環境が大きく変化し、いじめや不登校をはじめ、インターネットによる事案、家庭における教育力の低下など、様々な状況が複雑に絡み合い、子どもの成長にとって深刻な問題にもつながっています。

このようなときこそ、学校・家庭・地域の大人たちが一つになり、子どもたちを育てていくことが重要です。

地域の大人たちが、これまで培ってきた経験の上に、持てる技能や知恵を生かしながら、力を合わせ地域全体で子どもたちの成長を応援していきます。

施策2-1 家庭教育の充実

子どもたちが心身ともに健全に成長していくためには、家庭における教育の役割が非常に重要です。また、子育てを行う保護者やまわりの大人が、子どもたちを正しく導いていくことが大切です。

保護者が、家庭における役割や子育てに対する責任を確実に果たすことができるように、しつけや基本的な生活習慣など、家庭における教育の在り方についての知識や技能を学ぶ機会の充実に努めます。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	きりしまっ子立志 10 年カレンダーの配布 (生涯学習課)	子どもたちに、きりしまっ子立志 10 年カレンダーの活用を通して、日頃から自分の生き方や将来像について意識させるとともに、自分の未来に対する志を抱かせる機会とする。	未記入
2	家庭教育学級の開催 (生涯学習課)	それぞれの保護者が子育てやしつけなどについて学び、各家庭における教育の充実を図るため、各学校等に家庭教育学級を開設する。 【幼稚園 6 園、小学校 35 校、中学校 12 校】	
3	家庭教育総合支援事業 (生涯学習課)	子どもを持つ保護者を対象に、子育てやしつけなど、家庭教育についてのより一層の理解を図るため、講演会の開催にあたり謝金補助を行う。 【対象：市内の各小・中学校における講演会】	

施策2-2 社会の中で子どもを育てる機会の充実

子どもたちの生きる力は、学校における学習だけではなく、家庭や地域など、日常生活の中で出会う驚きや感動から生まれます。また、社会性や協調性は、多くの人との出会いや異年齢集団での活動、地域における幅広い世代の中での活動で育まれます。

学校や地域で行われる様々な活動を通して、健全な子どもを育てる機会の充実を図ります。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	子ども会育成支援事業 (生涯学習課)	各地域の単位子ども会や市子ども会育成連絡協議会との連携を図るとともに、地域における青少年の健全育成について指導や助言、運営に要する経費の援助を行う。 【役員を対象とした各種研修会の開催、市子連主催「おすすめ事業」の実施など】 (再掲)	未記入
2	PTA活動支援事業 (生涯学習課)	単位PTAや市PTA連絡協議会との連携を図るとともに、PTA活動の在り方等に対して指導や助言、運営に要する経費の援助を行う。 【市P連研究大会…11月実施】	
3	各校区青少年健全育成連絡協議会 (生涯学習課)	各校区を中心に、公民館やPTA、子ども会など、地域における様々な団体が連携し、それぞれの立場から、青少年の健全育成を図る。	
4	青少年育成センター運営事業 (生涯学習課)	年間を通して、子育てや家庭教育に関する相談活動や定期的に子どもを見守る巡回指導を行う。また、市内全域で各地域に13人の補導員を委嘱し、各地域における健全育成を推進する。	
5	市校外生活指導連絡協議会運営支援事業 (生涯学習課)	各学校・市P連・市子連・市教委・警察等が提携し、学校外における青少年の生活指導の充実を図る。特に、長期休業の前には連絡会を開催し、各団体等の共通理解を図る。	
6	スポーツ少年団育成事業 (保健体育課)	【霧島市スポーツ少年団結団式】 「次の時代を担うからだところの健全な青少年を育てよう」との理念のもと	

		<p>に創設されたスポーツ少年団が、新年度の活動を始めるにあたり、団員・指導者及び育成会が一堂に会し、お互いの協力のもと、その活動目的を達成する決意を確認するために結団式を行う。</p> <p>【霧島市スポーツ少年団指導者協議会研修会】</p> <p>年に1回スポーツ少年団の指導者・育成会の資質の向上を目的とした研修会を開催することにより、団員の健全育成に努めている。また、競技種目を越えた各単位団の指導者・育成会の交流により様々な考え方を吸収する事が出来、指導方法の幅が広がる。</p>	
7	学校評議員配置事業 (学校教育課)	<p>学校の教育目標・計画や地域との連携について、保護者や地域住民の意見を聞くことを通して、学校経営への理解や協力を得ながら、特色ある教育活動の推進を図る。</p>	
8	文化財少年団 (文化振興課)	<p>児童・生徒が、発掘調査や浜下りなどの体験を通して、歴史や年中行事等に触れることで、本市の歴史を正しく学ぶとともに、文化財を大切にしようとする心を育てる。</p>	

施策2-3 学校を支える地域教育力の充実

地域の皆さんが、趣味や仕事などを通してこれまでに培ってきた知識や技能を生かし、学校を支援していこうとすることは、学校における教育力の向上はもとより、子どもと地域との絆づくりにもつながります。現在では、それぞれの方々が学んだことを、学校や社会に還元する「知の循環型社会の創造」が叫ばれています。

霧島市では、地域住民が一体となって子どもたちを見守り、それぞれの地域で学校を支える体制づくりを推進していきます。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	きりしま学校応援団 (生涯学習課)	<p>地域や外部の人材を学校支援ボランティアとして活用することを通して、各学校における教育活動の充実を図る。また、各地域の人材育成と、学校をサポートしようとする意識の高揚を図る。</p>	未記入

2	マイ・スクール・プランニング推進事業 ふるさと達人支援プラン (学校教育課)	中学校の部活動や小・中学校の教科、道徳、特別活動等において、専門の外部講師による一流の指導を通して、児童生徒の学習意欲や技術の向上を推進する。	
---	--	---	--

きりしま学校応援団

～書道・裁縫・ミシン指導より～

生涯学習課

学んだことや、これまでの経験から得た知識や技能を幅広く地域や社会に還元していくことが、これからの社会には必要となります。

学校応援団は、地域や外部の人材を学校に支援ボランティアとして活用することにより、各学校における教育活動の充実を図るとともに、地域と学校の絆を作ります。



書道



ミシン指導

施策2-4 学校施設の有効活用の推進

学校の施設については、生涯学習の観点から広く地域に開放してきました。また、これまでも地域に身近な施設として、体育館やグラウンドの体育施設の有効活用を推進してきました。

今後も、学校施設については、地域のニーズに応じて、スポーツ施設の開放だけにとどまることなく、地域の人々の学習の場として、その利用を促進していきます。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	学校体育施設開放事業 (保健体育課)	市民のスポーツ・レクリエーションの活動の場として、学校体育施設を学校教育に支障がない範囲で開放を行う。 開放する施設は、市内のすべての公立小・中学校施設とし、市内に住居する市民の団体であれば、登録することにより定期的に利用できる。	未記入

施策2-5 学校における現代的課題に向けての取組

近年、教育に対する課題やニーズが多様化しています。学校では、いじめや不登校などの問題が深刻化しており、家庭や地域社会においては、子ども同士、人と人とのかかわりの希薄化などが規範意識の低下を招いています。また、急速に発達したインターネットや携帯電話の普及などにより、私たちの生活が豊かになる一方で、これらを悪用した事件が増加しています。

いじめや不登校問題に対応するために、教育相談体制を整備するとともに、学校、家庭、地域が連携した取組を支援します。また、社会の要請が高い人権、安全、防災など社会的な課題に対応した学習機会の充実を図ります。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	いじめ・不登校問題対策サポート事業 (学校教育課)	いじめ問題に対応する専門相談員及び不登校児童生徒の学校復帰を目指す教育支援センター指導員が、相談者への助言や学校への指導、校内研修や家庭教育学級等での講話を通して課題解決に向けた取組を進める。	未記入
2	小学校英語教育推進事業 (学校教育課)	A L Tや外国語活動等支援員を小学校へ派遣し、初歩的な英語を聞いたり話したりする活動を通して、英語に親しみ、外国の生活や文化に対する興味・関心を高めるとともに、音声によるコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、コミュニケーション能力の素地を培う。	
3	教職員研修事業	授業を通じた校内研修の充実と、各種研修会への参加により、人権教育等に関する教職員の資質向上に努めながら、学級PTA等で啓発活動を行う。	
4	スクールガード (学校防犯ボランティア) (保健体育課)	市内小学校35校で1,280名のボランティアが、小学校ごとに、子どもたちの登下校の安全を見守るために、スクールガード (学校防犯ボランティア) として活動している。	

施策2-6 高等教育機関や企業との連携の推進

生涯学習を推進する上で、地元にある高等教育機関や大学・企業などとの連携を図り、専門的な高いレベルのプログラムを提供することは大切なことです。

市民のニーズや子どもたちの夢に応えるためにも、高等教育機関や大学・企業などと連携をし、より専門的な学習内容の提供と人材活用に努めます。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	ニューライフカレッジ霧島 (生涯学習課)	志学館大学と鹿児島工業高等専門学校と連携し実施。南九州地域を中心とした自然・社会・産業などの地域遺産を掘り起し、未来に繋いでいこうとする、市民の学びを推進する。 【5月～2月の10回シリーズ】 (再掲)	未記入
2	きりしまチャレンジャー (生涯学習課)	地域高等教育体験活動として、第一工業大学と鹿児島工業高等専門学校と連携し、それぞれの特色を生かした航空宇宙工学や電気電子工学など、科学技術体験の機会を子どもたちに提供する。 【科学体験 in 第一工業大学, 科学技術体験 in 鹿児島高専, 企業】 (再掲)	
3	霧島ジオパーク・イン・スクール推進事業 (学校教育課)	日本ジオパークに認定された霧島山に対する誇りと感謝の心を育むために、大学や専門機関から外部講師を招聘し、各学校の特色に応じたジオパーク学習の充実を図る。	

【生涯学習の環境づくり】

推進方策3：『生涯学習の環境づくりに努めます』

本市では、市民の皆さんの学びの機会が広がるとともに、その学びが充実したものとなるように、施設の整備はもとよりシステムの更新など、様々な面から学習環境を整えてきました。

これからも、市民の皆さんの多様なライフスタイルに応え、学びの意欲を高めるため、公民館、図書館、メディアセンター、スポーツ施設、資料館、学校など、より充実した生涯学習の環境づくりを目指します。

施策3-1 情報メディアの活用と情報提供の充実

多様な学習ニーズに応えるサービスをより一層進めるとともに、図書館や公民館、メディアセンター等の社会教育施設の情報を発信し、誰もが必要に応じて生涯を通して学び続けることができる学習環境の実現を目指します。

また、さまざまな学習情報は、市広報紙「広報きりしま」・各種パンフレット・チラシ、市公式ホームページ、メディアセンターホームページなどによって市民の方々に提供しています。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	メディアセンターホームページ等の運用 (メディアセンター)	メディアセンター主催講座の案内、来所研修の内容、なつかしの映画を観る会、土曜子ども映画会の案内、映像教材の目録等を掲載し、情報メディアの活用等についての学習情報の提供を行う。 また、市公式ホームページともリンクし、公民講座等の情報を閲覧できるようにする。	未記入
2	図書館システム運営 (図書館)	国分・隼人図書館では、インターネットや携帯電話により蔵書検索、新着図書案内、図書の予約等を図書館ホームページで行っている。また、各図書館(室)のイベント等の情報の提供をする。	
3	公民館講座講師等、ボランティアバンクの情報提供 (生涯学習課)	市民の皆さんの学びに対する多様なニーズに応えるために、公民館講座の情報やボランティアの情報を提供する。 また、様々な分野の講師や指導者等についての情報提供も行う。	

4	スポーツ、レクリエーション活動の情報提供 (保健体育課)	県内外で開催される、ランニング大会やウォーキング大会等の情報提供や、申込用紙の提供を行う。	
5	市内各スポーツ施設の案内 (保健体育課)	市内各地区のスポーツ施設の使用について(種目に合わせた施設の紹介や使用料及び減免)、ホームページ等で、情報提供を行っていく。	

施策3-2 生涯学習施設の整備と充実

各社会教育施設は、生涯学習の中核的施設として積極的に活用されるとともに、身近な地域コミュニティの拠点として、幅広く市民の皆さんに活用されています。現在、霧島市には、公民館やスポーツ施設、資料館など多くの社会教育施設があります。

今後も、生涯学習の拠点施設としてのますます活用が図られるよう施設の管理と運営に努めます。

	事業等(担当課)	事業の概要	評価
1	各地区公民館管理運営事業 (生涯学習課)	市民の方々の身近な生涯学習施設として、公民館講座や自主学習グループ、研修・集会の場として幅広く活用されている7つの拠点公民館、1つの公民館分館、26の地区公民館等の管理を行う。	未記入
2	スポーツ環境の整備 (保健体育課)	市内体育施設の安全点検及び計画的な施設整備を行う。 また、体育施設の管理をしている指定管理者の管理監督を行う。	
3	郷土館等管理運営事業 (文化振興課)	地域の歴史や民俗資料の調査・研究・収蔵及び資料の公開を行う。また、郷土館等が持つそれぞれの資料などを活用した企画展・収蔵品展等を実施し、本市の歴史・文化を正しく理解するとともに、郷土への造詣を深めることを目的として郷土館等の管理を行う。	

施策3-3 図書館サービスの整備と充実

市内には図書館2館、図書室5室があり、また、移動図書館車3台を運行しています。

多様な資料の整備に努め、幅広い年齢層の方たちに応じた資料の提供を行い、親しみやすく利用しやすい図書館を目指します。

そのために効果的・効率的な図書館運営を図りながら、図書資料の充実や図書館機能の整備・充実に努めます。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	図書館運営事業 (図書館)	図書資料の収集, 整理, 提供や図書館施設の維持管理を行う。	未記入
2	図書館読書推進事業 (図書館)	ブックスタート, おはなし会, 読書まつりの実施, 図書館だより等の作成, 配布などの読書推進活動を行う。	
3	郷土資料収集事業 (図書館)	県・霧島市に関連する郷土資料の収集・整理・保管を行う。	
4	移動図書館運営事業 (図書館)	図書館から遠隔地にある地域, 住宅, 団地, 小学校等に移動図書館車での図書資料の巡回サービスを行う。	

移動図書館

図書館

図書館 (室) から遠隔地にある地域, 住宅, 団地, 小学校等に移動図書館車での図書資料の巡回サービスを実施しています。

国分図書館に2台「しろやま号 (大型), しろやま号 (小型)」, 隼人図書館に1台「はやとすずかけ号」の3台で市内を一か月の周期で巡回し, 図書資料の貸出・返却を行っています。また, 保育園や地区公民館等への配本も実施しています。



しろやま号

(大型) 積載冊数 約 4,000 冊 (小型) 積載冊数 約 1,200 冊



はやとすずかけ号

積載冊数 約 2,200 冊

施策3-4 生涯学習関連施設や団体との連携

市内には、公民館や図書館・メディアセンターのほか、青少年の体験活動を目的とした宿泊施設、温水プールや陸上競技場などの体育施設、そして、歴史や文化を学ぶことができる郷土館など様々な施設があります。

また、市内には生涯学習に携わるNPO法人や施設の管理を委託している民間事業者もあります。

そこで、各施設の連携を図ることはもとより、それぞれの団体や事業者との連携をより一層図り、多くの市民の方々の多様なニーズに応えられるよう努めます。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	生涯学習関連施設及び社会教育関係団体との連携推進 (生涯学習課・保健体育課・文化振興課)	生涯学習推進協議会における活動を中心とし、各課及び関係機関、公民館などの各施設、そして、様々な社会教育関係団体等との連携を推進する。	未記入

【地域づくり・まちづくり】

推進方策4：『知の循環を生かしたまちづくりの推進を目指します』

霧島市では、これまでに多くの災害を経験しています。また、今回の東日本大震災での経験から、私たちは様々なことを学びました。計り知れない自然の力や、家族・地域の絆の大切さについても再認識をすることになりました。

生涯学習の推進は、自らの生きがいを見つけるだけでなく、このように様々な災害に対応するとともに、多様化した現代社会ならではの課題に向き合う態勢づくりにもつながります。

学びを通して得た知識や経験を生かして、地域における教育力の向上を図るとともに、人と人との絆やつながりを大切にした「まちづくり」の推進を目指します。

施策4-1 地域における生涯学習の推進

市民の皆さんが地域で生涯学習に取り組むには、地域におけるリーダーの育成を推進するとともに、地域で行われる様々な団体の活動を支援することが大切です。

それぞれの地域には、多くの活動団体やその指導者など人的資源も豊富にあります。それぞれのよさを生かし、地域に根付いた生涯学習の推進を図ります。

さらに、その学習と学びの輪をさらに発展させ、「(仮称) きりしま総合大学」構想につなげていきます。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	(仮称) きりしま総合大学 設置構想 (案) (生涯学習課)	本市における生涯学習を体系的に推進していくために、(仮称) きりしま総合大学として設置するための構想づくりを、生涯学習推進協議会等で検討・協議しながら推進していく。	未記入
2	公民館講座 (生涯学習課)	市内7地区の拠点公民館を中心に、市民の皆さんに身近な内容から専門的なものまで、様々なジャンルから、学びのきっかけとなる機会の提供を行う。 【定期講座140講座, 短期講座10講座】 (再掲)	
3	公民館活動 (生涯学習課)	地域住民を対象に、物づくり活動やレクリエーション活動・奉仕活動など、各種活動を通して、地域における世代間の交流を図る。	

4	各種女性団体の活動 (生涯学習課)	各種女性団体や生活学校など、各活動に対する指導や助言を行う。また、活動費に対する援助を行うことにより、それぞれの団体の活性化を図る。	
5	青年団活動 (生涯学習課)	青年団活動や他の団体との連携などについて、指導や助言を行うとともに、活動費に対する援助を行うことにより、青年団活動の活性化を図る。	
6	山ヶ野ウォーキング大会開催支援事業 (文化振興課)	山ヶ野ウォーキング大会の開催により、山ヶ野金山の歴史・文化を正しく理解し、文化財を大切にす愛護思想を育むことができる。 また、地域住民の協力や中学生による案内説明など、おもてなしの心を届けるとともに地域の活性化を図る。	
7	各地区スポーツ祭開催支援事業 (保健体育課)	市内の地区ごとに体育祭や駅伝大会、バレーボール、ゲートボール等の大会を開催することで、日頃スポーツに取り組んでいない方の参加を促進し、住民相互の親睦や地域の結束と融和を深める。 (再掲)	

山ヶ野ウォーキング大会開催事業

～山ヶ野ウォーキング大会～

文化振興課



山ヶ野金山は、江戸時代はじめに発見され、金の埋蔵量や品質は日本屈指であり、薩摩藩の財政を潤すとともに、天降川の川筋直しの資金源となりました。この横川山ヶ野地区にある貴重な文化遺産「山ヶ野金山」の周知と、地域活性化を目的として、平成14年度から「山ヶ野ウォーキング大会」を開催いたしました。

地域住民による郷土料理や茶菓でのおもてなしや、次代を担う横川中学校の生徒たちによる山ヶ野金山についての参加者への説明など、参加者にとっても地域住民・中学生にとっても非常に有意義な大会となっています。



施策4-2 地元「霧島」について学ぶ機会の充実

私たちの霧島市には、日本ジオパークに認定された霧島の山々をはじめ、季節ごとに姿を変える美しい自然や多様な文化が非常にたくさん残されています。また、縄文時代の遺構や古代からつながる史跡が豊富にあります。

このようなふるさとのすばらしさを生かしながら、地域における自然体験や郷土の歴史学習など様々な学習活動を通して、霧島のよさを学び伝える機会の充実を推進します。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	いざ行け！きりしま探検隊 (生涯学習課)	霧島市内の豊かな自然や地域に残る史跡などの学習を通して、ふるさとのすばらしさに気付く「きりしまっ子」を育成する。 (再掲)	未記入
2	きりしまチャレンジャー (生涯学習課)	ふるさとの豊かな自然の中で、霧島の山々や動植物等にふれあう活動を通して、感性豊かな子どもたちを育成する。 (再掲)	
3	公民館定期講座 (生涯学習課)	霧島市のそれぞれの地域をフィールドにして、ふるさとに残る文化や歴史・史跡等を訪ねたり、野外散策などをしたり、豊かな自然や郷土に伝わる伝統的な文化などについて学ぶ機会の提供を行う。 【横川探究塾、霧島自然探訪、霧島よかところどり】 (再掲)	
4	霧島ジオパーク・イン・スクール推進事業 (学校教育課)	日本ジオパークに認定された霧島山に対する誇りと感謝の心を育むために、ジオパークコーナーを設置し、各学校の特色に応じたジオパーク学習を推進する。 (再掲)	
5	ふるさと霧島カルタの活用 (学校教育課)	これからの霧島を担っていく子どもたちが、霧島の歴史や伝統、自然、文化など郷土の地域性を題材に表した「かるた」の活動に取り組むことで、郷土「霧島」への興味・関心を高める。	

施策4-3 市民によるまちづくりの推進

これまでも、市民の皆さんが地域活動に参画し、相互に支え合うための学びの場を提供してきました。

生涯学習の学びの場には、多くの人々が集い様々なことを学び、多くのネットワークが作られます。

そこで、これまで市民の方々が学んできた知識や技術を生かしながら、これからも市民が主体となって活動に参加するまちづくりの推進を図ります。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	公民館講座 (生涯学習課)	7 地区拠点公民館を中心に、市民の皆さんに身近な内容から専門的なものまで、様々なジャンルから、学びのきっかけとなる機会の提供を行う。 【定期講座140講座、短期講座10講座】 (再掲)	未記入
2	ボランティアバンク研修会 (生涯学習課)	ボランティアバンクに登録している方々を対象とし、ボランティアとしての心構えや取り組み方など、登録者の資質向上を目的に、年2回、研修会を実施する。	

施策4-4 人材の育成とその活用

生涯学習を推進していくためには、地域における学習活動のつなぎ役・相談役・コーディネーターとなって活躍する地域のリーダーの育成が重要となってきます。

各種事業を通して、地域のリーダーやボランティアとして活動できる人材の育成を行い、その活用を図っていきます。

	事業等 (担当課)	事業の概要	評価
1	公民館講座講師・学級長合同研修会 (生涯学習課)	公民館講座の指導者や、講座の中心となって活動している学級長を対象に、それぞれの資質向上を目的に、年2回研修会を実施する。	未記入
2	きりしまっ子立志塾 (生涯学習課)	市内の中学生を対象に、英語を中心とした2泊3日の宿泊を伴う体験を通して、次代を担い世界へはばたき得るリーダーの育成を行う。 (再掲)	
3	スポーツ推進委員活動事業 (保健体育課)	市民の多様化するスポーツニーズへの対応や、効果的な指導が行われるためには、スポーツについての知識や指導技術、	

		実技技能を持ったスポーツ推進委員の養成・確保が必要であり、その適任者の選考や資質の向上が必要となる。市民ニーズの拡大やスポーツ環境の変化に対応した視点でのスポーツ推進委員の育成を行う。	
4	図書館ボランティア (図書館)	図書館(室)において読書推進活動として、読み聞かせボランティアによる図書館(室)や各保育園、幼稚園、小中学校等でのおはなし会を実施する。また、館内ボランティアの育成を図る	

目からウロコの勉強術

～きりしまっ子立志塾より～

学校教育課

きりしまっ子立志塾では、生徒が家庭学習の仕方を身に付けるために、学校教育課の指導主事等が5教科(国社数理英)の勉強の仕方やその内容、手順などを教えます。参加生徒は、5教科の中から2教科を選択し、2日間で1教科ずつ勉強の仕方等を学びます。生徒は準備された教材等をもとに、個人で考えたり、ペアで考えたりして勉強方法を学びます。最後に指導主事が学習するポイントをまとめ、参加生徒の学習への関心や意欲を喚起します。



施策4-5 生涯学習ボランティアバンクの充実

学んだことを、広く地域や社会に還元していこうとする社会の創造が叫ばれている中、市民の皆さんが、これまでの経験から得た多くの知識や技能を生かし、地域づくりに参加・参画していくことはコミュニティづくりの視点からも大切なことです。

霧島市では、個人の学びの成果や趣味・仕事等により得た専門的な知識や技能を地域社会に還元できるよう人材を登録し、学びを生かし支えていける体制づくりを推進します。

	事業等(担当課)	事業の概要	評価
1	生涯学習ボランティアバンク事業 (生涯学習課)	登録者に対する活躍の場を確保するとともに、市民や各種団体からのボランティアニーズに従い派遣を行う。また、ボランティアの方々の活動の様子を掲載し	未記入

		た「生涯学習ボランティアバンクだより」を作成し、本活動の意義について、啓発を行う。	
2	ボランティアバンク研修会 (生涯学習課)	ボランティアバンクに登録している方々を対象に、ボランティアを行う上での心構えや取り組み方の方法など、それぞれの資質向上を目的に、年2回の研修会を実施する。 (再掲)	

施策4-6 出前講座（市職員の派遣）の充実

市民の皆さんに、霧島市の市政や各課の施策に対する理解をより一層深めていただくために、それぞれの担当課で、業務内容やテーマに準じた講座を設定し、市政の充実及び市民に対する意識啓発の機会を提供しています。

今後は、急速に進展する社会を見据えたうえで、市民の要望やニーズにも十分考慮しながら講座の拡充や刷新に努め、より一層の活用がなされるよう内容等の充実に努めます。

	事業等（担当課）	事業の概要	評価
1	出前講座 (学校教育課) (生涯学習課) (保健体育課) (文化振興課) (メディアセンター)	それぞれの課等で、業務内容やテーマに準じた講座を設定し、市民の要望により市職員を派遣し、市政に対する理解を深める企画の充実に努める。	未記入